

報道関係者各位

2012年2月
株式会社主婦の友社

発売予告 3月9日発売

『必ず来る！大震災を生き抜くための食事学』

3.11 東日本大震災 あの時、ほんとうに食べたかったもの』

著者：宮城大学准教授 食品分子栄養学研究室 石川 伸一 定価 1365円(税込み)

株式会社主婦の友社(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荻野善之)は、2012年3月9日、『必ず来る！大震災を生き抜くための食事学 3.11 東日本大震災 あの時、ほんとうに食べたかったもの』定価 1365円(税込み)を発売いたします。(発行は主婦の友インフォス情報社)。

数年以内に70%の確率で来るといわれる大地震！都市のライフラインが遮断されたとたん、コンビニやスーパーの棚は瞬時に空っぽになり、食品不足の街には異様な緊張感が満ちる…。

3.11 東日本大震災を仙台で身を以って体験した著者、宮城大学准教授、石川伸一氏が、食品研究者として、「イザという時」のために、どのように「心」を備え、具体的にどんな「食」を備蓄すればよいのかを説きます。巻頭カラーでは、NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台的写真協力をいただき、3.11 地震発生からの宮城大学構内・仙台市内・市民が食べた震災時のごはんの数々・棚が空っぽのコンビニ・スーパーなどを紹介。あの震災を「都市と食」という観点で捉えなおした一冊です。

< 内容 >



都市を襲う大地震！

何を、どう備えれば、「その時」を生き抜けるのか？

3.11 東日本大震災を経験した経験豊富な食品研究者、宮城大学准教授、石川伸一氏が書く、「イザという時」に何をどう備えるか。

2011年3月11日午後2時46分18秒、宮城大学にて「はじまり」に過ぎなかった地震発生当日、自宅にて「行列賞賛」に感じた違和感 薄暗い洋菓子店と店員さん " 飴 " が宝石のように見えた 「食」の復旧に心から安堵 震災時に見た人の本質、食の本質 コンビニの棚からモノが " 流失 " し、からっぽになった「怖さ」 物流はまさに " 動的平衡 " 人は不便さではなく、「落差」で苦しむ あの時、ほんとうに「食べたかったもの」 備蓄は考えたくない？ 「不便さ」というワクチンを打つ 「甘いものでほっとする」の科学 備蓄食を考えることから普段の食事も変わる 「ゼロリスク」はない、ただ「ローリスク」なだけ

著者プロフィール：石川 伸一 宮城大学食産業学部フードビジネス学科 食品分子栄養学研究室 准教授
1973年福島県生まれ。東北大学大学院農学研究科修了。専門は分子レベルの栄養学。

書誌タイトル：『必ず来る！大震災を生き抜くための食事学 3.11 東日本大震災 あの時、ほんとうに食べたかったもの』

定価：1365円(税込み) ISBN：978-4-07-282754-3 サイズ：四六判 208ページ 発売日：2012/3/9

株式会社主婦の友社の概要

株式会社主婦の友インフォス情報社の概要

・社名：株式会社 主婦の友社

・社名：株式会社 主婦の友インフォス情報社

・代表取締役社長 荻野 善之

・代表取締役社長 久次米 義敬

・URL：<http://www.shufunotomo.co.jp/>・URL：<http://www.st-infos.co.jp/>

・所在地：東京都千代田区神田駿河台 2-9

・所在地：東京都千代田区猿樂町 1-2-1

この件に関するお問い合わせは下記担当までお願いいたします。

株式会社主婦の友インフォス情報社 安藤 TEL 03-3294-0214 FAX 03-3294-0228